



公益社団法人

日本語教育学会

2017年度第7回支部集会【関東支部】開催報告

主催：公益社団法人日本語教育学会

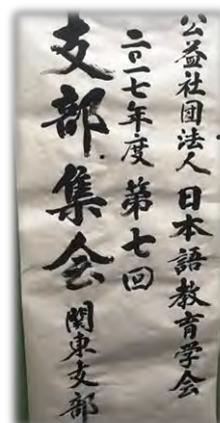
協賛：山梨交通株式会社，山交タウンコーチ株式会社

協力：「日本語での対話力を考える」実行委員会

開催日：2017年10月28日（土）

会場：山梨大学甲府キャンパス工業会館3階アクティブラーニング室

参加者：59名（会員24名・一般35名）



山梨県甲府市の山梨大学において、第7回支部集会【関東支部】が開催され、「交流ひろば」「よろず相談」「昼食交流会」の3つの企画が実施されました。「交流ひろば」では、コースデザイン、教材、情報提供のウェブサイト、コーパス、調査結果分析など、幅広い内容に関する12の出展があり、改善の糸口を話し合ったり、ネットワークを広げたり、参加者同士の交流が盛んに行われました。参加者アンケートの結果もおおむね好評で、参加者はそれぞれの出展者の取り組みから多くの刺激を得たようでした。一方、「交流ひろば」という新しい企画がまだ定着していなかったため、出展者からは交流やネットワーク作りをどのように進めればいいのかイメージがわからず、準備が難しかったという声もあり、今後の支部活動の課題の一つだと感じました。

「交流ひろば」と並行して行われた「よろず相談」は、「交流ひろば」での交流が活発だったこともあり、相談者は1名だけでした。しかし、参加者アンケートには、時間があれば行きたかったという声もあり、各企画の時間配分に改善の余地があるように感じました。

「昼食交流会」には15名ほどの参加者がありましたが、参加者アンケートでは「昼食交流会」に対する評価が分かれてしまいました。こちらも新しい企画ですので、今後工夫を重ねていきたいと思います。

山梨県では、日本語教育学会のイベントは今回が初めてということでしたが、地元の方々の多大なるご協力のおかげで無事に一日を終えることができました。ここで改めてお礼申し上げます。

山梨県内の出展者、参加者も多く、日本語教育や日本語指導に対する関心の高さが感じられました。今回の支部集会が今後の山梨県の日本語教育に少しでも役立ってくれば幸いです。そして、新しい試みもあった今回の支部集会は、今後学会が、それぞれの支部や地域にとってより有益な支部活動を考えるためのよい材料となりました。



どのブースも活発な意見交換がなされた交流ひろば

なお、同会場にて午後は、「日本語での対話力を考える」実行委員会主催で、鎌田修氏（南山大学）、立部文崇氏（徳山大学）を講師に招き、講演とワークショップ「日本語での対話力とそののぼし方－地域と教室における実践」が開催されました。午前の支部集会参加者が午後の会にも多数参加して1日を通して満足していたようです。私たち支部集会委員も参加し、現地実行委員と協力してよい連携ができました。

（報告者：支部活動委員 西村学・奥村圭子・金庭久美子・船橋瑞貴）